

ときた 旧鴉田家住宅

千葉県指定有形文化財



ご利用案内

開館時間

午前9時30分～午後4時30分
※(11月～3月)午後4時閉館

休館日

- 毎週月曜日
(休日の場合は翌日休館)
- 施設点検日 毎月第2金曜日
(休日の場合は前日休館)
- 12月29日～1月4日

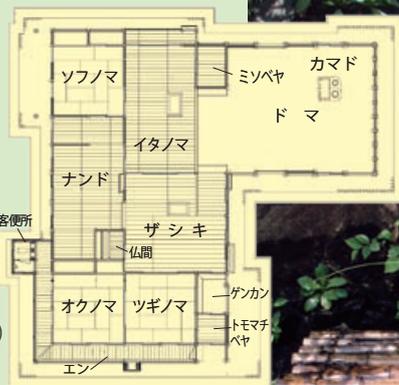
入館料 無料

建物の規模・規格

かやぶき ひら やよせむねづくり

茅葺平屋寄棟造

床面積 315.7㎡
オモヤ 桁行 20.0m 梁間 11.0m
(廊下・客便所を含まず)
ドマ 桁行 9.4m 梁間 8.2m
棟高さ 10.3m
(礎石上端から棟木上端まで)



●所在地 習志野市実籾 2-24-1 (実籾本郷公園内)

●交通

- ▶京成本線実籾駅から徒歩 12分
- ▶バスのご利用
新京成線新津田沼駅北口または京成本線京成大久保駅から
ハッピーバス「京成大久保駅ルート」で「実籾本郷入口」下車
徒歩 10分
- ▶駐車場有 (4台)。実籾本郷公園にも駐車場がございます。

●お問い合わせ

習志野市教育委員会 社会教育課 ☎047-451-1151 (内線 462)



旧鴉田家住宅の四季

旧鴉田家住宅の概要

平成17年(2005)3月29日
千葉県指定有形文化財指定

旧鴉田家住宅は、享保12年(1727)から翌13年にかけて東金(御成)街道沿いに建築され、江戸時代に実籾村の名主をつとめた鴉田家の住居として、平成3年(1991)まで使用されていました。平成12年10月にはほぼ建築当初の姿で移築復原され、同年11月に開館しました。

ㄚ字型に曲がった主屋は、かつて東北地方に多く分布していた「曲屋」であり、南関東ではきわめて珍しい建築様式です。また、この住宅は、身分の高い人が来訪した時に使う「ゲンカン(玄関)」や、その供の者が待機した「トモチベヤ(供待ち部屋)」、江戸時代の民家としては貴重な客便所など、名主の家にふさわしい特色を伝えています。

「ドマ(土間)」では民具を展示し、午前中はカマドで火を焚いております。主庭「上宿庭」では、水琴窟が奏でる安らぎの音色と、四季を彩るイロハモミジやロウバイ、サンシュユなどの植物をお楽しみいただけます。

※天候により、カマドで火を焚かない日があります。